



クロースアップ
第20回

く今を生きる 人こそが宝く

く野球をとおして子ども・地域とふれあつてく

野球スポーツ少年団監督
WASSAMU日ハム会応援団長

西田 陽 司

(にしだ ようじ)さん

これまでの道のり

和寒町で生まれ、和寒小学校、和寒中学校、土別高等学校を卒業後、東京で就職し、平成12年に和寒町に帰町、現在町内でスナック「サンライ」を経営している。

平成13年から和寒町野球スポーツ少年団の指導に携わり平成17年から監督を引き受け、また平成19年にプロ野球チーム日本ハムファイターズ

を応援するファンクラブ「WASSAMU日ハム会」を立ち上げ応援団長に就任、野球をとおして幅広く活躍している。

を応援するファンクラブ「WASSAMU日ハム会」を立ち上げ応援団長に就任、野球をとおして幅広く活躍している。

指導方針

平成13年に少年団の育成会から子どもたちに野球を教えるて欲しいとの要請を受け、子どもが好きなにより野球が好きだった西田さんは、快く

引き受けました。

子どもたちに野球を教えるにあたり西田さんは、「教育なんて大それたものではないが、あまり教え過ぎないようにして、子どもたち自身が自分で行動できるように頑張ってほしい」「スポーツをとおして、きちんとあいさつができる礼儀を身につけて欲しい。そんな大人になってくれれば」と考え指導に当たっています。

監督の苦勞

指導していく中での悩みは、平日は、西田さんひとり20人も子どもたちを見なくてはならないこともあり、なかなか思うような練習ができないこと、また、子どもたちの成長は想像以上のスピードで、ポジション選定や選手の起用など頭を悩めることも多いそうです。でも、それが楽しみのひとつにもなっています。

監督としての喜び

試合に勝った時の子どもた

ちの笑顔、教えた子どもたちが大きくなって、後輩たちに教えに来てくれた姿を見るとこれからも体の続く限りがんばろうと思えるそうです。

最後に西田さんは、「町民の方が気軽に球場に足を運んでもらい、子どもたちと一緒に野球をできるようなそんな環境になれば」と話してくれました。

WASSAMU日ハム会

平成19年、町内の日本ハムファイターズファンが集まり、ファンクラブ「WASSAMU日ハム会」が設立されました。日ハム会は、日本ハムファイターズを応援する中で、町民の親睦を図ることを目的として設立されています。応援団長を務める西田さんは、「年間数回実施している札幌ドームへのバスツアー時のファイターズの勝率が低いのが気がかりであるが、ファイターズの応援をとおして和寒町が盛り上がりつつ元気になれば」と笑顔で話していました。



西田 陽司さん[野球スポーツ少年団監督][WASSAMU日ハム会応援団長] 46歳
和寒町字西町 32-3127
出身：和寒町字西町
経歴：1976年 和寒小学校卒業 1979年 和寒中学校卒業
1981年 土別高等学校卒業 2000年 東京から帰町
2005年 野球スポーツ少年団監督 2007年 WASSAMU日ハム会 応援団長
趣味：読書、スポーツなど